Ecological Times

2012/8/2 号外【Candle Night ～ in Summer2012 ～】

癒しの空間 Candle Night

夏を迎え、暑い日が続いていますがみなさんいかにしてお過ごしでしょうか。ホントは節電しなくちゃいけないけれど…こんなに暑いとクーラーに頼ってしまいがちだなぁ…なんて人もいるでしょう。今年は電気料金が上がるようで、誰もが節電を意識せざるを得ないような状況です。そんな中電気を使わないで過ごすというあるイベントが東京の武蔵野大学有明キャンパスにて行われました。それが今回紹介する Candle Night です。数年前から行われてきました Candle Night は、武蔵野キャンパスから場所を移し新たに建設された有明キャンパスにて開催されました。期待高まる新キャンパスで行われた Candle Night、はたしてどのような催しになったのでしょうか。

・Candle Night とは？

Candle Night が武蔵野大学で行われたらしいけど Candle Night って何？と思われた方がいらっしゃるでしょう。これは、本大学環境学部環境プロジェクトの一つである『キャンドルナイトプロジェクト』が年 2 回、夏至と冬至に開催するイベントです。このイベントは「キャンドルの明かりだけで過ごすことにより、自分のこと・環境のこと・家族のこと・友人のことなど、さまざまなことを考えてほしい」というコンセプトの元行われており、キャンドルのあたたかな光によって創られた静かな空間を提供してくれます。ここでは何をしてもよく、音楽を聴いたり、食事をしたり、お酒を飲んだりと楽しみ方は人それぞれ。それがこのイベント最大の魅力です。いつもは人工的な光の中で過ごしている私たちですが、キャンドルの明かりによってもたらされる特殊な空間によって私たちは普段と異なる雰囲気を楽しむことができます。昨年度の様子を知りたい方は本プロジェクトホームページの「Candle Night　～ in2011　夏～」をご覧ください。武蔵野キャンパスでの開催模様が書かれています。

会場で談話する学生

・今年は新キャンパスで

2012 年、武蔵野大学では有明キャンパスという新キャンパスが開校されました。（新キャンパスについては過去の記事をご覧下さい。）その新キャンパスで Candle Night を執り行うという『キャンドルナイトプロジェクト』の新たな試みが今回のイベントです。新キャンパスという新たな環境になり、開催場所もキャンパス内のホールから「ロハスカフェ」という飲食店内へと変わりました。Candle Night のリーダーさんは「今回は場所が今までと異なるため以前のようにキャンドルを床に置くことができなかった。そのためテーブルに置くことにしたりといくつか変更しなければならないことがありました。また、外部の方を呼ぶために最寄りの駅にポスターを貼ろうとしたのですが、申請から許可までの時間が思ったより長く実施できませんでした。そういった想定外のことが多くあったためこのように実施することができよかったです。」と、イベント開催までの苦労を語ってくれました。

Candle Night では毎回テーマが決められており、会場にはテーマを思わせるようにキャンドルが配置されています。昨年度まではキャンドルで床にテーマに沿ったモチーフを象っていたのですが、今回は床に置くことが出来なくなったため今までのようにはできません。そこでメンバーで考え、モチーフを象らずに会場全体で今回の Candle Night のテーマを表現しなければなりませんでした。果たしてテーマはどのように表現されたのでしょう？そしてそのテーマとは一体何だったのでしょうか。

・カフェに「海」を

会場内に流れるさざ波の音…今回のテーマは『海』。海を臨む有明キャンパスにふさわしいテーマを今回のイベントでは表現しています。「以前は置いたキャンドルでテーマのモチーフを表現していたのですが今回はその方法を使えません。そのため会場にさざ波の音を流したり、メンバーで集めてきた貝殻をブラスに入れることで海を表現しています。少し中途半端になってしまったかもしれませんが (笑)」貝殻を見ながら海の音を聞く、学内のカフェであるとはいえ海のイメージが湧いてきます。さらにパワーポイント

インタビューに応じて下さった
Candle Night のリーダー

ここで貝殻をあしらったオリジナルの
カップを作れる

による海の環境や生物多様性の問題も取り上げられておりよい学びの場ともなりました。また、会場内には貝殻とカップが用意されており、キャンドル用のカップを好きなようにデザインすることができます。そしてキャンドルですが、今回のキャンドルには一味違った工夫がなされています。

ある人が作った
オリジナルカップ

・水に浮かぶ明かり～フローティングキャンドル～

カフェのテーブルに置かれているキャンドルですが何か変です。なんとグラスの水の上に浮いているではありませんか！これはフローティングキャンドルと呼ばれるもので水の上にキャンドルを置くという水とろうそくが一体になったキャンドルです。まさに海という雰囲気の中で行う Candle Night を体現しているように見えます。

燈るフローティングキャンドル

・その開催ぶりは…

環境プロジェクトとしてエコタイを始めてから私、三井にとって今回の CandleNight は 3 回目の取材になる。キャンパスが変わったことで一時は開催を危ぶまれていたこともあり、一抹の不安があったが始まった CandleNight はそんな不安が全く無意

淡く光るキャンドルたち

味なものであったことを私に感じさせた。時期が時期なため始まってすぐは外からの光が入ってきて明るいためキャンドルの雰囲気を十分には楽しむことはできない。それでもメンバーからのあいさ

つ、海の環境・生物多様性についてのパワーポイントとイベントが進んでいき逢魔が時に差しかかったあたりから

CandleNight らしい雰囲気を感じられるようになる。そうなってくると次第に増えたお客もにぎわいをみせ、思い思いに楽しんでいる様子が伝わってくる。会話に興じながら、お酒や食事をたしなむお客は皆実に楽しげで、取材の合間に頂いた食事はとてもおいしく、友人との会話にゆったりとした一時を楽しむことができた。そんな中今回のゲスト、環境ライブさんが登場。キャンドルの明かりの中で行われるアコースティックライブ、その様子にまだ始まってすらいないのに会場が俄かに活気づくのを感じた。キャンドルに照らされたギターが躍り、音が広がるたびに観客も演奏に引き込まれていく。その様をなんとか伝えようとはやる気持ちのままシャッターをきる。決して音響の良い環境ではなかったが、その瞬間心を震わせた音は今まで聞いた中でも一際暖かく、いつしか伝えようという気持ちよりこの空間に浸りたい気持ちがこみ上げ、撮影を放棄してしまいそうだった。会場に響く手拍子が会場の一体感を盛り上げ演奏が終わると共に鳴り響いた拍手がイベントの素晴らしさを称えているようだった。

今回は新キャンパスでの開催ということで新しい試みも多く、さまざまな苦労があったでしょう。しかしそんな中でもこのような素晴らしいイベントをキャンドルナイトプロジェクトさんは企画してくださいました。もちろん環境ライブさんの力も大きかったと思うが、あの特殊な空間があったからこ一層映えるライブであったはず。リーダーさんにお話を伺ったところ、まだまだ反省するところがあるので 12 月の Candle Night にそれを活かしていきたいとおっしゃっていた。今から 12 月が楽しみだ。

この記事を読んで Candle Night に興味を持たれた方は 12 月に行われますイベントに参加なさってはいかがでしょう。筆者の拙い文章や写真以上の感動が得られるはずです。学内でのイベントであるため学生が多く、参加しづらいかもしれません。そういった時は考えを変えて、

素敵なライブを奏でる
環境ライブの皆さん

「ロハスカフェに食事に来た」と思われてはどうでしょう？少しは気が楽になるかとおもいます。何はともあれキャンドルの淡い灯りとおいしい食事、流れる音楽は喧騒の中に身を置くあなたにきっと癒しを与え、思い出を残してくれるでしょう。感動とやすらかな気持ちが得られことを皆さんにお約束します。

～ ～ ～ 編 集 後 記 ～ ～ ～

キャンドルナイトは本大学のみのイベントではなく日本各地でも行われています。同じ時間に同じ環境の中にいる人たちが自分のほかにもいるということを考えると何とも不思議な気分になりますね。今回参加された方々はこの場で感じ取った雰囲気を忘れずに、そして残念ながら参加されなかった方々はこれを機会にぜひ次回のキャンドルナイトに参加してみてください。忘れられない時間になることだろうと思います。最後に取材に協力してくださったキャンドルナイトプロジェクト様、環境ライブ様、どうもありがとうございました。

生田目雄太

Candle Night の取材を何度か行いましたが、今年は昨年まで以上におしゃれな雰囲気を堪能することができました。やはり今までがホールで行っていたためキャンドルの魅力を周囲が損なっていたのかもしれません。また、本格的な食事を楽しめるというのも新たな魅力としてあります。そのおかげで今までよりも会場内に長く居る人が多かったように感じました。環プロの中には様々な活動をされているプロジェクトがありますが、楽しむという意味では Candle Night は最も素晴らしい Project です。実際に体験されれば感動すること請け合いですので是非一度参加なさって下さい。

今回掲載しました写真は全て自分が撮影しました。昨年の新聞では写真の悪さに悔しい思いをしたので今年はカメラも新調し、勉強した上で挑みました。如何でしょうか？ある程度見れる写真であるかと思います。そういった意味で勉強になる経験でした。

Ecological　Times　Project 代表：三井翔太

次回の Candle Night は冬至（今年は 12 月 21 日）を予定しています。ただ、学生が行っているということもありますのであくまで予定であることをご承知下さい。近くなりましたら本プロジェクトの HP や Twitter・Facebook でお知らせ致します。この記事で興味を持たれた方は是非お誘いあわせの上お越し下さい。最寄駅はりんかい線「国際展示場駅」となっております。キャンパスまでの地図に関しては武蔵野大学 HP をご確認ください（下記 URL 参照）。

本プロジェクトでは随時メンバーを募集しております。活動の根本には授業がありますが、外部の方の協力も歓迎しております。興味を持たれた方、話だけでも聞いてみたいという方がいらっしゃいましたら下記メールアドレスからご連絡下さい。よろしくお願します。

以下 URL。これらの HP にはエコタイの HP からリンクでアクセスできます。是非ご活用下さい。

Ecological　Times　Project：http://ecotimproject321.web.fc2.com/
ブログ：http://profile.ameba.jp/ecologicaltimesproject/
環境プロジェクト：http://kanpuro.wordpress.com/
武蔵野大学：http://www.musashino-u.ac.jp/

文章・デザイン・編集後記：三井翔太、生田目雄太
写真・編集：三井翔太
協力：キャンドルナイトプロジェクト

Ecological　Times
【号外～ Candle Night ～ in Summer2012 ～～】
発効日：2012/8/2
制作：Ecological　Times　Project
代表：三井翔太（環境学専攻 3 年）
Gmail：ecological.times.project@gmail.com
所属：武蔵野大学　有明キャンパス
（東京都江東区有明 3-3-3）